

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S6	施策名	高齢者の福祉事業、優待事業の見直し					
担当部課	長寿課		関係部課					
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち						
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進						
	法定受託事務の有無	無						
	その他(関係計画、要綱等)	有	高齢者外出促進事業実施要綱、あつたかあど交付要綱等					
	施策開始の背景、経緯等	利用者の偏りが見られる事業がある。 市民主体の事業へ移行する必要がある。						
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 事業の統廃合や事業主体の見直しを行う。						
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 高齢者外出促進事業、敬老事業、長生学園事業						
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民協働の拡大を推進する。						
目標・成果推移等①	施策に係る取組①		福祉事業の見直し					
	R6年度 (2024)		R7年度 (2025)		R8年度 (2026)		中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標	成果・目標
	長生学園及び敬老事業催事の合同実施		長生学園事業の廃止 敬老事業の見直し内容で実施(催事及び敬老記念品廃止、敬老金見直し) あつたかあど事業について検討		敬老事業実施 あつたかあど事業について検討		敬老事業実施 あつたかあど事業について検討	敬老事業実施 あつたかあど事業について検討
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
	敬老事業	3,953千円	敬老事業	1,290千円	敬老事業	1,290千円	敬老事業	1,290千円
	長生学園事業	32千円	あつたかあど事業	3,566千円	あつたかあど事業	3,566千円	あつたかあど事業	3,566千円
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
	(延べ)	5 人	(延べ)	0 人	(延べ)	0 人	(延べ)	0 人
	(延べ)		(延べ)		(延べ)		(延べ)	(延べ)
目標・成果推移等②	施策に係る取組②		優待事業の見直し					
	R6年度 (2024)		R7年度 (2025)		R8年度 (2026)		中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標	成果・目標
	65歳以上:マナカチャージ券 4,569枚 免許返納者:マナカチャージ券 156枚 N-バス回数券 54枚		対象者の見直しの検討		改正内容の実施		改正内容の実施	改正内容の実施
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
	高齢者外出促進事業	5,334千円	高齢者外出促進事業	5,334千円	高齢者外出促進事業	5,334千円	高齢者外出促進事業	5,334千円
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
	(延べ)	0 人	(延べ)	0 人	(延べ)	0 人	(延べ)	0 人
	(延べ)		(延べ)		(延べ)		(延べ)	(延べ)
	活動状況	活動エピソード		(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 高齢者外出促進事業の一環として実施している運転免許証自主返納時のマナカチャージ券5,000円分またはN-バス回数券6,600円分の選択制としている。				

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 長生学園事業は、実行委員会形式で事業を決定しており、令和5年度及び令和6年度は、実行委員が4名であったことから、敬老事業と合同で実施した。そのことも鑑み、実行委員会で長生学園事業は廃止することを決定した。また、敬老事業について、敬老金対象年齢、記念品の見直し及び催事の廃止をした。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 長生学園事業は、実行委員会で話し合いの結果廃止を決定することができた。 敬老事業は、近隣市町の状況や高齢者の平均寿命の延伸を踏まえ見直しを行った。 高齢者外出促進事業は、対象者の見直しを行う必要がある。 あつたかあど事業は、温泉事業者変更に伴い、あつたかあど自体の必要性を検討する必要がある。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) サービス利用者数や行事参加による実績値は把握できるが、利用による効果の測定ができていない。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 高齢者外出促進事業について、対象者の見直しをする必要がある。 あつたかあど事業について、温泉事業者変更に伴い、あつたかあど自体の必要性を検討する必要がある。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
	内部意見への回答	